

えんしんぶんり

VOL.131
2025年4月

Contents

- 集荷担当者の教育実習(風景)／① 集荷担当者の教育実習／②
Dr.Webご使用時の不具合対処方法／③ 細菌検査統計報告、ちょっと
ひと言／④



【集荷担当者の教育実習】

「eラーニング」学びのプラットフォームを活用し教育を実施しています。

ルールを定め、理解し守ること

事業者は、個人情報の取扱いに関するルールを定め運用することで、事故というリスクに備えます。

⇒そ

②目的と連動した、具体的なアウトプットの設定

個人情報とは②

私たちには要配慮個人情報を取り扱っています

車内BOX点検

車内から集荷ボックスを取り出す
帰所時は車両から空ボックス含め全てのボックスを出し、車両のバックドアを開け、車内が空なことを確認する

車内の撮影
バックドアから荷台に何もない状態をiPhoneで撮影をする
※撮った写真はiPhone内に3か月保管する

車内BOX点検確認表に記録
車内を確認した証跡として車内BOX点検表に押印をする

車内へのボックスの置き忘れを防止する

All rights reserved. ©

All rights reserved. Copyright 2022 MEDICARE CORPORATION

集荷担当者では年1回実施される共通教育のほか、集荷業務に関する内容の教育を定期的に実施。

集荷業務を遂行するうえで、すべての担当者が自らの必要な知識や技術を獲得し、サービスの品質を保持・向上させることを目的としています。

●共通教育

…マナー教育、社員行動規範、安全運転教育など
※安全運転教育は二ヶ月に1回実施

●2024年4月～ 集荷業務教育(手順)

●2024年10月～ 集荷業務教育(検査知識)

集荷業務教育	第三者確認
	報告書誤配・依頼書紛失と個人情報保護
	ラベル貼付手順
	依頼書記入時の注意点
	依頼ミス防止手順
	治験検体集荷手順
	集荷漏れ防止手順
	発送漏れ防止手順
	一般細菌検査
検査知識	負荷検体(糖負荷、呼気試験)・透析検体
	白血病関連検査(遺伝子・染色体・細胞性免疫)
	全血と血清と血漿
	アレルギー検査
	感染症検査
	病理検査・細胞診検査

Dr.Webご使用の医療機関より
お問い合わせのある質問をまとめました。
下記で不具合が改善しない場合はご連絡ください。

Q1

FortiClientが接続できない



A

パスワードは半角英数字です。カナ文字、全角になつていませんか?
パソコンを再起動して再度ご確認ください。

Q2

電子カルテに結果が入っていない

A

再度結果をお送りしますので福岡市医師会臨床検査センター受付までご連絡してください。結果フォルダに結果ファイルがあり電子カルテに取り込み出来ない場合はQ 4 のパスワード保護共有がオフになっているかご確認ください。

Q3

指示箋は出るがラベルが出ない、 またはラベルは出るが指示箋が出ない。

A

指示箋、ラベルを出力するプリンタスプールにエラーが発生している可能性があります。
スタートボタン から“print”で検索するとプリンターとスキャナーの画面が出ます。プリンタの“キューを開く”を押下してエラーが発生していないかご確認ください。エラーが発生していれば削除してください。

Q4

指示箋、ラベルの両方が出ない

A

- FortiClientが接続されているかご確認ください。
- Windowsの更新で電子カルテとの共有が外れている可能性があります。
スタートボタン →コントロールパネル→ネットワークと共有センター →共有の詳細設定の変更→すべてのネットワークを開く→パスワードの保護共有がオンになっていればオフにしてください。

細菌検査統計報告

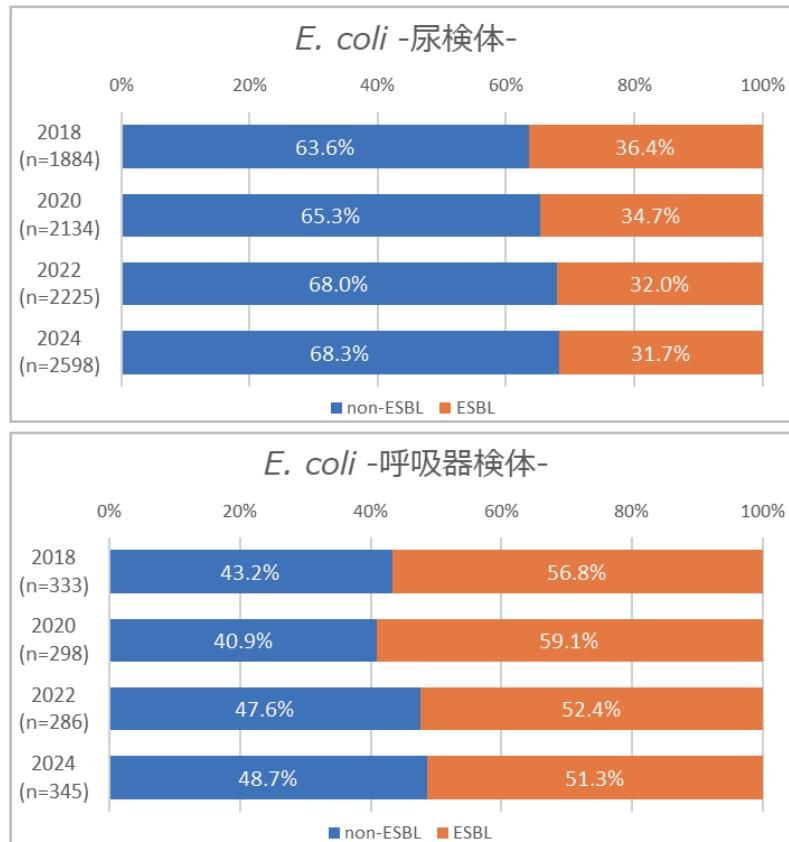
(当施設における材料別大腸菌の検出状況)

当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況を一部取り上げてご報告いたします。その他の検査材料の細菌検出状況、薬剤感受性情報、薬剤耐性菌検出状況、腸管病原菌検出状況は、当検査センターホームページに掲載しています。

<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html>

今回は当検査センターでの尿検体と呼吸器検体における大腸菌の検出状況を調査しました。

2018年から2024年まで2年毎に大腸菌のnon-ESBLとESBLの検出割合を比較しました。尿検体ではnon-ESBLが多く、呼吸器検体ではESBLが多い状況となっています。これは、尿検体では外来患者の検体が多く、呼吸器検体では入院患者の検体が多いことが影響していると考えられます。またESBLの割合が若干減少傾向にあります。尿検体では30%、呼吸器検体では50%を超える状況です。



先日牡蠣小屋に行ってきました

先日牡蠣小屋に行ってきました。シーズンになると毎年のように行っていましたが、コロナで遠のいており何年かぶりの牡蠣小屋。どこに行くか迷い、テレビで紹介されていたお店なら間違いないよね。という事で糸島方面の漁港に決定。すると、以前と変わってびっくりしました。前はビニールハウスを良くした感じの建物と記憶していましたが、立派な建物になっていて(全部同じつくり)各店の前に大きな写真付きのメニュー看板が貼ってあり私達が入ったお店ではQRコードを読み取り、スマホで注文をして食材をネコのロボットが運んで来るという今時に変わっていました。張り切ってお揃いの蛍光ジャンパーを着て軍手をはめて牡蠣を焼いていると、あれ?どの牡蠣も小ぶりではありませんか。(お店によるのかもしれません)味は美味しいのですが食べ応えが無いねと少し残念に思っていると、ふとそう言えば牡蠣小屋を紹介する地元のニュースで秋になんでも海水温が高く育ちが遅いと言っていたのを思い出して改めて温暖化は怖いなあと実感しました。一緒に行った友人たちも物足りなかったのか、また行こうと計画を立てている所です。それまでに牡蠣が大きくなっているといいな。

営業管理係 藤井 沙織

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

TEL 092-852-1506 FAX 092-852-1511

<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html>

E-mail : fma@city.fukuoka.med.or.jp

編集委員 田川 恒平 東田 和子 杉本 清美 田中 進一 高下 誠司 井手 明宏